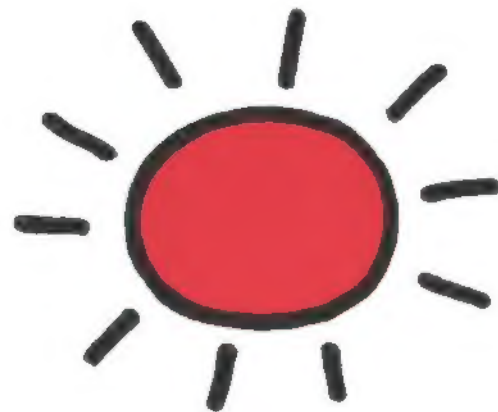
おはなしシリーズ

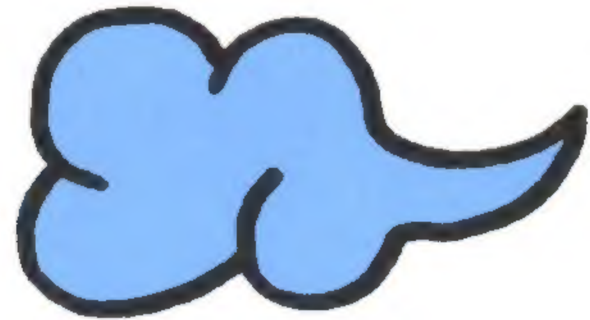
12

ねずみのよめいり





おとうさんねずみは　かわいい　ひとりむすめを
せかいで　いちばん　つよい　ものの
およめに　したいと　かんがえていました。
「いつも　せかいじゅうを　あたたかくしている
おひさまが　せかいで　いちばん　つよいにちがいない。」



おとうさんねずみは　おひさまに　いいました。
「せかいで　いちばん　つよいのは　おひさまです。
むすめを　よめに　もらってください。」
「いや　いや　わたしより　くものほうが　つよいです。
くもは　わたしを　すっぽり　かくしてしまうから。」


おとうさんねずみは　くもの　ところに　でかけました。
「せかいで　いちばん　つよいのは　くもさんです。
むすめを　よめに　もらってください。」
「いや　いや　わたしよりも　かぜのほうが　つよいです。
かぜは　わたしを　かんたんに　ふきとばしてしまうから。」



おとうさんねずみは　かぜのところに　でかけました。
「せかいで　いちばん　つよいのは　かぜさんです。
むすめを　よめに　もらってください。」



「いや　いや　わたしより　かべのほうが　つよいです。
わたしが　どんなに　つよい　かぜを　ふかせても
かべは　びくともしませんから。」





おとうさんねずみは　かべの　ところに　でかけました。
「せかいで　いちばん　つよいのは　かべさんです。
どうぞ　むすめを　よめに　もらってください。」
「いいえ　せかいで　いちばん　つよいのは　ねずみです。
わたしの　からだに　がりがり　あなを　あけるから。」



「なんと　せかいで　いちばん　つよいのが　ねずみとは。」
おとうさんねずみは　すぐに　いえに　かえって
むすめに　ねずみの　おむこさんを　みつけてやりました。
「よい　むこどのが　みつかって　よかった　よかった。」
ねずみの　かぞくは　ずっと　なかよく　くらしました。

